

# 様式 1

## 学力向上に向けた取組事例 (R元)

事務所名	県西	市町村名	下妻市教育委員会	TEL	0296-44-0746
------	----	------	----------	-----	--------------

課題  
人材育成  
学びの接続



改善方法  
○教員の意欲を高め、力を引き出す研修体制の充実  
○学びの接続における成果や課題に気付く研修方法の見直し

### 1 昨年度までの課題

- 指導力向上及び授業改善の成果が十分ではない。 → 人材育成
- 小学校の学びの成果が中学校に十分に接続されていない。 → 学びの接続

### 2 取組のキーワード

『つなぐ 任せる 見届ける』を大切にされた教育委員会としての関わり  
人と人、学校と学校をつなぐ～やることを明確にして任せる～やり遂げるまでを見届けるまで

### 3 具体的な実践

#### 英語教育における人材育成と学びの接続に関する取組

～英語教育研究プロジェクト推進委員会での実践から～

#### 目的

- ◇児童生徒のコミュニケーション能力、英語力の向上
- ◇英語教育におけるリーダー（中央研修受講者）の力を生かした各校英語リーダー教員の育成
- ◇小中・小小・中中が連携した取組の充実  
「何を学んでいるか どのように学んでいるか 何ができるようになっていくか」を学校間で相互に理解することから、指導(カリキュラム)の連携までを実践する。

#### 参加者

推進委員12名(市内小中学校の外国語担当教員各校1名)

#### 実施方法

隔月開催 原則2部構成で実施(小中合同全体会⇒校種別分科会)

#### 内容等

- ◇パイロット校※1の実践、成果と課題の共有・協議 ※1.先進的に外国語授業研究に取り組む小学校
- ◇校内研修・授業実践の成果と課題、進捗状況の共有
- ◇全国学力・学習状況調査、GTEC結果等の分析と課題を踏まえた取組の実践  
⇒授業改善に向けた協議・教材作成※資料1参照  
⇒市内3中学校英語担当教員による下妻市学力調査問題の作成※資料2参照
- ◇小中相互授業参観による相互の学びの理解
- ◇小中接続カリキュラムの検討・作成(R1) 等

#### ◆英語教育研究プロジェクト推進委員会のマネジメントサイクル(RPDCA)

- 各校の取組等を知る(R) ⇒各校の取組から自校の解決策を考える(P) ⇒自校で実践する(D)
- ⇒実践を共有・協議する(C) ⇒他の解決策や次のステップを検討する(A)

### 4 成果について

- 小中相互の指導内容、指導法、身に付ける力の理解が促進され指導力向上や授業改善が図られてきている。
- 中学校において、小学校外国語教育理解が深まり、小学校での学びを意識した授業改善が図られてきている。
- R1全国学力・学習状況調査結果(英語)において、全国平均正答率を5.0ポイント上回った。生徒質問紙では、「英語の授業の内容はよく分かりますか」の問いに対する肯定的な回答率が全国平均を10.4ポイント上回った。